

江崎 貴大 議員 無会派



問 都市間連携を活発に

答 幅広い交流活動で連携に繋げる

問 本市の都市間連携の考え方は。

答 (総務部長) 地域社会の発展や地域への課題の対応に活用するため促進していきたい。

問 現在の都市間連携は。

答 防災関係では、平成24年に千葉県浦安市と、平成29年に宮城県東松島市。その他に長野県木祖村、富山県南砺市と交流。

問 浦安市との災害時相互応援協定の経緯は。

答 本市から協定締結の提案。

問 浦安市との連携の現状は。

答 災害時に連絡を取り合う。

問 金魚サミット開催の経緯は。

答 (商工観光課長) 町おこし事業の一環で、平成8年から10年で、奈良県大和郡山市、熊本県長洲町、本市の順で開催。平成26年に大和郡山市、平成28年に本市、平成30年に長洲町で開催。

問 金魚サミットでの交流の今後は。

答 (市長) 両市町との金魚交流をきっかけに、災害時における相互応援に関する協定が実現できるように検討。

答 (市民生活部長) これまで同様、情報の共有を図っていく。

問 金魚での連携を災害時の協力体制に結び付けるなど、都市間連携の今後は。

答 (市長) 両市町との金魚交流をきっかけに、災害時における相互応援に関する協定が実現できるように検討。



▲平成28年に本市で開催された金魚サミット

問 自転車の安全な利用に向けて

答 各家庭で自転車賠償保険加入を

問 本市の自転車事故の現状は。

答 (市民生活部長) 2018年が42名、2019年が39名、2020年が44名。

問 自転車保険の加入状況は。

答 「愛知県政世論調査2019」では、36.7%。

問 自転車損害賠償責任保険等への加入が義務化となった。周知方法と助成の考えは。

答 広報やとみ10月号や市ホームページに掲載。県の

チラシは、市内の小中高校に配布。助成は考えていない。

問 今年度から新たに自転車乗車用ヘルメット購入費を補助する制度が始まった。ヘルメット着用率の現状は。

答 「愛知県政世論調査2019」では、65歳以上が8.7%。

問 オンライン申請への考えや動きは。

答 (総務部長) 可能な手続きから順にオンライン化を進めていく。

